

2010年度実務担当者研修会アンケート結果：ワーキングC

日時：2010年9月2日～9月3日／場所：愛知大学豊橋校舎

回答数：13（参加者数：13 回答率：100% [参加者数に講師含む]

1. 身分等

A：大学所属（専任・嘱託・契約職員など）	10	76.9%
B：そのほか（派遣・委託職員など）	3	23.1%
回答無し	0	0.0%

2. 図書館業務の経験年数

A：5年未満	3	23.1%
B：10年未満	4	30.8%
C：15年未満	3	23.1%
D：20年未満	1	7.7%
E：20年以上	2	15.4%
回答無し	0	0.0%

3. 開催時期

A：ちょうど良い	13	100.0%
B：早い	0	0.0%
C：遅い	0	0.0%
回答無し	0	0.0%

【A：ちょうどよい】夏休みがあったので、意外に準備の時間はとれなかった。

4. 研修会の運営について

A：適当	13	100.0%
B：適当でない	0	0.0%
回答無し	0	0.0%

【A：適当】

夏休み中なので課題に取り組みやすかったです。ただ、休み中なので連絡（メール）確認をかかさずする注意が学期以上に必要でした。
 新しい角度からの視点をみつけることができた。
 事前の連絡も多く、質問に対しても丁寧に答えて頂き、スムーズで良かったです。
 図書館の現場に近い内容の研修テーマを設定してもらってあって大変有意義だと感じた。また、大学図書館の方と交流ができ、自館で困っていることや、他館の事情について話をすることができて良い機会であった。委員の方々は非常に熱心で、研修に対して細やかな気配りをして下さって、感謝の気持ちでいっぱいです。
 初日の各ワーキングの活動報告について簡単な資料があると良かった。（ワーキングBを除く）
 2日目の時間が足りなかった。発表者も事前に決めておく準備ができるので助かります。

5. 全体講義の講演について

A：とても参考になった	5	38.5%
B：参考になった	6	46.2%
C：あまり参考にならなかった	2	15.4%
D：参考にならなかった	0	0.0%
回答無し	0	0.0%

【A：とても参考になった】

資料の電子化が進んだ図書館の実際の姿を知ることができた。組織目標をしっかりと見すえて業務を遂行することの大切さを再認識した。
 具体的でとても分かりやすかったです。学生へのオリエンテーションの話も参考になりました。
 最新の情報を聞くことができ、とてもよかった。帰ってから活用できるよう、HPなどを見ようと思います。
 医学図書館独自のサービスが初めて聞くものが多く、自館に当てはめた際にそこまで出来るかどうかと考えさせられた。

【B：参考になった】

医学図書館ということであまり関係ないと最初思っていましたが、「資料電子化の影響」などは共通の話ではないかと感じました。

冊子体から作成したEJについての問題点について、実例を交えた説明が参考になった。

医学図書館の事例ではあるが、授業連携の取り組みなど参考になった。

【C：あまり参考にならなかった】

文系の大学であり、少しなじめないところもあるため。

6. 参加したワーキングについて

7. ワーキングの内容について

A：とても参考になった	9	69.2%
B：参考になった	4	30.8%
C：あまり参考にならなかった	0	0.0%
D：参考にならなかった	0	0.0%
回答なし	0	0.0%

【A：とても参考になった】

レファレンス分析の必要を強く思いました。質問者とのコミュニケーションをしっかり行うことなど。

実際に回答を作成することで、座学より身についたと思う。個人では限界があるレファレンスツールの開拓ができた。通常使っているレファレンスツールのさらに便利な使い方を知ることができた。

普段それほど難しい時間のかかるレファレンスに出会えないので、様々なレファレンスとその回答方法について色々知る良い機会になりました。

レファレンス質問が片寄っていることに気付くことができた。役立ちそうなDBやwebを知ることができた。色々な対応のしかたがあることが分かった。

レファレンスの具体的な事例を回答まで調査、プレゼンする事が実務そのものを行っているのと同じような形で参考になった。

レファレンスの回答にたどりつくまでのプロセスを詳しく知ることができた。各担当者の考え方が参考になった。

他大学の調査方法を学ぶことができた。また参考ツールの紹介あり、今後の業務に役立てたい。

【B：参考になった】

10数名で共通の問題について考え、各自の視点を提供することで有意義な情報交換ができた。

主題分析など目線の違う手法は新鮮だった。自分以外の課題に取り組む時間がなく残念だった。これが出来ていたらもっと濃いものに出来たと思う。（反省です）

他館のレファレンス事例を知ることにより、その解決までのツールや分析方法など、学ぶことがたくさんあったから。

8：事前課題について

A：あってもよい	13	100.0%
B：無いほうがよい	0	0.0%
回答無し	0	0.0%

【A：あってもよい】

夏休み期間中に課せられたこともあり時間的な余裕もあまりなかったが、事前に課題をこなすことで当日に際して“意気込み”をもつことができるので、あってもよいと思う。また、自身のレファレンススキルのアップにつながるので、少しはあった方がよいのではないかと。ただし、量についてはもう少し減らしてもらえればと思う。

自身、自館の問題点など認識した上で受講した方が、より多くのものを吸収できたと思います。

たいへんだが、勉強になる。

事前課題があったおかげで事前から研修を意識することができた。又、当日スムーズに進める為にはある程度の課題は必要だと思う。

が、課題が多く業務の中でやりくりするのが大変だった。文系と理系では参考質問が全く違うので参考にならない。

課題に取り組むことで、普段使わないDBなどをあらためて確認することができた。

通常の業務が大変になるとは思いますが、当日のみよりは深く学ぶ事が出来ると思います。

当日だけの研修では得るものが少ないと思う。研修の導入として事前課題はあった方がよい。

当日のみよりも実際に課題に取り組むことにより、当日の内容がより身につくと思われる。また参加者同士の共感にもつながる。

あっても良いが、事後課題となるレポートまで必要なかどうか。秋学期を迎えて忙しくなる頃でもある。課題2のプレゼン関連とレファレンスツールを中心にやれば、時間的にも中身がもっと濃くなると思う。

9. 今後希望する研修会のスタイルについて（複数回答あり）

A：今回のようなワーキング主体の研修会	12	92.3%
B：講演主体の研修会	0	0.0%
C：その他	0	0.0%
回答無し	1	7.7%

10. 今後研修会で扱ってほしいテーマについて（複数回答あり）

A：発注・受入	0	0.0%
B：整理	4	12.1%
C：蔵書検索	1	3.0%
D：危機管理	2	6.1%
E：利用者支援・利用者教育	6	18.2%
F：I L L	2	6.1%
G：Webサービス（データベース・電子ジャーナルなど）	5	15.2%
H：ポータルサービス	4	12.1%
I：e-ラーニング	3	9.1%
J：広報（ポスター・チラシなど）	3	9.1%
K：人員管理	3	9.1%
L：その他	0	0.0%

11. お勧めの研修会場がございましたらご記入ください

名古屋市内の大学+市内の宿泊施設。大学を会場に使うのは大正解。

12. 研修会について

皆さん大変勉強されていて、刺激になりました。
 実際的な内容で勉強できとても良かった。
 実務に即した内容でとても参考になった。また、合宿型の研修であり、より一体感を持ち交流が図れたと思う。今後は宿泊型は難しいかもしれないが、ワーキング形式の研修はぜひ続けて頂きたいと思う。ありがとうございました。
 参加者同士がお互いに能力を伸ばせるような研修を期待しています。
 とてもよかったですと思います。ありがとうございました。
 非常に勉強になった2日間でした。今回学んだ事を是非本学での仕事に生かしていきたいと思えます。又、他2グループについても興味がありましたので、最後に触れることができよかったです。
 身分を問わず受け入れて下さるのは本当に有難いことです。この点だけはずっと変わらずにしていきたいです。他館の方と交流が出来、自館の悩みを話し合えたことはとても有意義でした。講師の方々、担当委員の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。
 2日間にわたって他館の図書館員の方と親しくさせていただく機会となり、このような研修会を今後も開催してもらえたらいいなと思う。講師の紅露先生には大変お世話になりました。また、委員の方々もよくして下さい、実りある研修会に参加させていただきました。どうもありがとうございました。
 今回の宿泊所は大変良かった。宿泊しなくても参加できるよう名古屋市内で開催することをそろそろ検討するべき。その方が参加可能な人間が増える。